

第1号議案 令和7年度事業報告書承認の件

令和7年度事業報告

令和7年度事業計画に基づき、奈良県をはじめ各関係行政機関、公益社団法人全国産業資源循環連合会（全産連）及び近畿地域協議会、公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター（JWセンター）等、関係団体と情報の共有及び連携を図りながら会員各位のご支援ご協力を得て以下の各種事業を実施することができました。

1. 産業廃棄物適正処理推進事業

(1) 適正処理推進のために協会の処理施設へのパトロールの実施

奈良県廃棄物対策課及び景観・環境総合センターと情報交換及び共有を図りながらパトロールを実施しました。平成10年度より協会の処理施設としての適正運営及び廃棄物の適正処理の推進を図るとともに、協会の処理施設の現状把握の為、令和7年度も次のとおり実施しました。

＜北和地区＞奈良市・生駒市・大和郡山市 ・中間処理施設5カ所	令和7年11月11日
＜中和地区＞王寺町・上牧町・田原本町・桜井市・宇陀市 ・中間処理施設7カ所	令和7年12月2日
＜南和地区＞御所市・下市町・大淀町 ・中間処理施設・最終処分場6カ所	令和7年12月12日

パトロールを実施した施設においては、いずれにおいても自主的に適正処理を推進している旨を奈良県及び奈良県警察本部に「パトロール訪問結果報告書」及び「施設パトロール写真」を添付して報告しました。

(2) 奈良県「不法投棄ゼロ作戦」推進キャンペーンに参画

不法投棄ゼロの環境を目指し県民・行政・警察・事業者が一体となって啓発活動を行い、不法放棄の撲滅と県民一人ひとりが自ら環境を守る意識を醸成し、県土の環境保全を目的に、「県民総監視」による不法投棄ゼロの環境を目指すべくキャンペーンである。

実行委員会は、奈良県、奈良県警察、奈良市、奈良県市長会、奈良県町村会、(一社)奈良県産業廃棄物協会、奈良県一般廃棄物事業協同組合、奈良県循環型社会推進協議会、(一社)奈良県建設業協会、(一社)奈良県解体工事業協会で構成され、当協会会長が実行委員長に就任しています。

実行委員長川崎会長のもと今年度は、令和7年11月3日～11月9日を「不法投

棄ゼロ作戦」強化週間として全県的なキャンペーンが実施されました。

令和7年11月2日に奈良県産業会館1階大ホールに於いて「不法投棄ゼロ作戦」啓発ポスター優秀作品表彰式を開催し、川崎会長より県内小・中・高生を対象に優秀作品等の表彰が行われました。

(3) 不法投棄物の撤去活動

奈良県は国内有数の史跡の宝庫であり、みどり豊かな自然に恵まれた景観を維持しようという目的で「大和路から不法投棄物をなくしましょう」をスローガンに、奈良県及び奈良県警察本部の協力を得て、協会員と共に県下の市町村を対象に不法投棄物一斉撤去の支援活動を実施しました。

① 各市町村へ実施案内を送付 令和7年12月24日

各市町村ご担当に向けて不法投棄物撤去活動実施についての案内を郵便にて送付しました。

② 各市町村との協議 令和8年2月4日（橿原市商工経済会館7階）

各市町村より撤去要望の受付（集積場所の地図、不法投棄物写真を持参）

③ 不法投棄物撤去活動 出発式 令和8年2月19日（橿原運動公園）

奈良県、奈良県景観・環境総合センター、奈良県警察本部の各ご代表及び不法投棄物運搬車両の参加のもと、午前8時30分より橿原運動公園の大駐車場において出発式を開催し、各市町村の不法投棄物集積場所へ出発しました。

撤去には協会員事業所の4トン車のべ24台が参加し、奈良市・生駒市・宇陀市・香芝市・葛城市・河合町・川上村・川西市・上牧町・広陵町・五條市・御所市・三郷町・曾爾村・高取町・天理市・東吉野村・平群町・御杖村・三宅町・山添村・吉野町の計22市町村における不法投棄物 約90トン を撤去し、協会員の処分場へ搬入しました。

この活動は平成4年度より毎年実施しており、今回は34回目にあたるが今後も奈良県の豊かな景観を守るために県と協力し、継続していく予定です。

(4) 災害廃棄物処理体制への協力・支援

「令和7年度 奈良県災害廃棄物対策教育・訓練【基礎編・図上演習】」への参加

平時から大規模災害に備え、災害廃棄物対策のスキルアップを図るとともに、協定等に基づき毎年奈良県主催で市町村および協定締結団体と災害発生時における廃棄物処理体制の確認、関係機関の連携強化を目的とする教育・訓練です。

今年度はオブザーバーとして川崎会長、伊藤副会長、寺井理事、岩田事務局長の4名が参加しました。

令和8年2月5日 奈良春日野国際フォーラム 麓 会議室1にて開催

<演習概要>

—想定する災害—

台風

—前半の対応—

水害発生の恐れのある段階から発災直後の体制の確立や被害の情報収集、他組織からの応援の受け入れ要請

—後半の対応—

発生1日程度後の収集体制の確立、仮置場の確保と運営体制

<協力要請>

当協会への協力要請としては、災害廃棄物の撤去、収集・運搬、処理・処分に対して当該市町村から協力の依頼を受ける。

尚、奈良県と当協会は、「地震等大規模災害時における災害廃棄物処理等の協力に関する協定書」を平成21年8月25日に締結しています。

(6) 適正処理促進のための情報提供及び相談への対応

協会員、協会員以外の処理業者及び排出事業者や一般県民多数からの産業廃棄物及び一般廃棄物（処理困難物等）の適正処理についての相談対応、産業廃棄物許可の取得に係る手続きや許可講習会の申込方法、紙マニフェスト及び電子マニフェストの運用方法や委託契約書の記載方法等さまざまな質疑の照会に対応し、また必要に応じて行政担当部門と連携を図りながらこれらを実施しました。

(7) 「麗（うるわ）しい奈良県づくり」推進協議会への参画

この協議会は、奈良ならではの美しい景観や持続可能な社会を構築するため、“オール奈良”による全県的な実施活動を誘発・促進する推進母体として平成28年に設立され、以降毎年参画しています。（一昨年名称が変更されました。）

- ・環境パトロール出発式へ参加（奈良県庁 正面玄関前）令和7年6月5日
- ・総会（春日野国際フォーラム～麓～レセプションホール1）令和8年1月30日
令和7年度 麗しい奈良県づくり功労賞 の表彰状授与
事例発表、行動計画の進捗状況説明、意見交換 等

(8) 「奈良県循環型社会推進協議会」への参画

奈良県は国を代表する歴史文化遺産や豊かな自然環境に恵まれており、これらの貴重な財産を守り活かしながら、次の世代に引き継いでいかなければなりません。そのため県では、環境への負荷ができる限り低減される持続可能な社会、いわゆる「循環型社会」の実現を目指し様々な取り組みを進めています。

この協議会はその一環として、県民・事業者・行政がそれぞれの役割を果たしながら連携し、「3R」を推進していくために設置されています。

今年度もこの構成委員として、また委員公募評価員として参画しました。

奈良県リサイクル認定製品の審査や奈良県廃棄物処理計画事業の進捗などを議事として協議されています。

協議会委員公募評価員・・・川崎 会長
協議会委員・・・松本 副会長

2. 情報関連事業

(1) 協会関連情報を収集・提供するために以下の行事への参加及び事業を行いました。

① 全産連の下記会議等行事(対面及びWeb又はハイブリット会議)へ参加

令和7年6月20日 第15回定時総会(東京都 明治記念館)

4月22日 第1回建設廃棄物部会運営委員会(ハイブリット会議)

10月31日 第1回資源循環と環境を考える全国大会

(北海道 グランドメルキュール札幌大通公園)

令和8年1月15日 賀詞交歓会(東京都 明治記念館)

2月3日 全国正会員事務局責任者会議(Web会議)

2月13日 正会員会長会議(徳島県 徳島グランヴィリオホテル)

(総務・倫理委員会及びマニフェスト委員会は、令和7年度 開催なし)

総務・倫理委員会・・・川崎 会長

マニフェスト委員会・・・三井 副会長

建設廃棄物部会運営委員会・・・伊藤 副会長

② 全産連 近畿地域協議会へ参加

・令和7年7月25日 兵庫県協会主催(神戸ポートピアホテル)

議題：令和6年度決算及び令和7年度予算について

令和7年度連合会表彰について

公益社団法人全国産業資源循環連合会の活動について)

・令和8年2月25日 大阪府協会主催(スイスホテル南海)

議題：令和8年度改選に係る連合会役員及び委員の推薦について

令和8年度連合会表彰に係る推薦について

(2) 産業廃棄物処理についての業界情報・法律改正等の最新情報を提供するために下記の事業を行いました。

① 賛助会員に全産連より毎月5日に発行される「インダスト」(産廃処理と資源循環の総合専門誌)を送付しました。

② 協会情報機関誌「クリーンコミュニケーション第34巻」を10月に発行し、協会会員及び関係者に配布しました。

令和8年度からはHPに統合する為、機関誌としての発行は最後となりました。

③ 行政等からの各種情報を郵送、協会HPへの掲載、Fax・メール等で会員に提供しました。

(3) インターネット事業

協会ホームページへ行政関連や許可講習会、協会からのお知らせ、会員情報等を必要都度に応じて更新しました。また、令和8年度中のリニューアルに向けて、ホームページ制作業者を決定しました。

(4) 第13回通常総会を開催

令和7年5月21日に橿原市商工経済会館7階大ホールで通常総会を開催しました。

▶議案及び報告事項

第1号議案 令和6年度事業報告及び収支決算、監査報告について

第2号議案 理事選任の件（辞任および新任）の件

報告事項1 令和7年度事業計画及び収支予算について

3. 表彰の実施

産業廃棄物の適正処理による県内環境保全の向上に寄与し、また事業活動を通して業界の発展に貢献された方や事業所、及び各事業所の発展に貢献従事された従業員にその功労をたたえ顕彰するため、当協会会長名による表彰を次の通り実施しました。

表彰日：令和7年5月21日（橿原市商工経済会館）

表彰内容：功労者表彰 1名

優良事業所表彰 1事業所

優良従事者表彰 9名

4. 組織拡大事業

協会事業の継続的な推進の為には会員の増員が重要課題である。新規加入案内パンフレットを作成し、会員からの新規加入を薦めていただくようお願いしました。また、同時に賛助会員の新規加入についても紹介加入を推進しました。

5. 奈良県より受託の「産業廃棄物適正処理促進研修実施業務」の開催

昨年度より奈良県から随意契約で受託し、奈良県・協会共催研修事業として下記

(1)・(2)の研修会を開催しました。

(1)「産業廃棄物排出事業所管理者研修会」参加人数：137名

令和8年3月10日（13:00～16:30）に橿原市商工経済会館7階大ホールにて、近畿圏内の排出事業所など（定員：150名、受講申込者：195名）を対象に下記の内容で研修会を実施しました。

開会挨拶：奈良県 環境森林部 廃棄物対策課 和田 正英 課長

（一社）奈良県産業廃棄物協会 川崎 勝也 会長

講演①：廃棄物処理法及び産業廃棄物処理の管理事務

②：令和7年度最新！法改正事項の解説

講師：株式会社ユニバーズ

環境コンサルティング事業部 係長

板倉 聡至 氏

(2) 「産業廃棄物優良処理事業者育成研修会」参加人数：94名

令和8年3月11日（13:00～16:30）に橿原市商工経済会館7階大ホールにて、奈良県を中心とする許可業者など（定員：100名、受講申込者：111名）を対象に下記の内容で研修会を実施しました。

開会挨拶：前日と同様

講演 ①：廃棄物処理法 基礎と応用

②：廃棄物処理法令の動向

講師：公益社団法人 大阪府産業資源循環協会
専務理事・事務局長 龍野 浩一 氏

開催案内については、近畿圏・三重県（一部地域除く）の事業者へ送付し、参加者全員にCPDS（一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度）受講証明書を配布しました。

7. 産業廃棄物管理票（マニフェスト）及び廃棄物処理委託契約書の頒布普及事業

マニフェスト及び委託契約書の頒布普及は、産業廃棄物の適正処理のため廃棄物処理法に基づき実施している公益事業であり、新たな利用者への説明も含めて頒布普及を行いました。

なお、令和7年4月よりマニフェストの仕入価格の値上げに伴い、同年5月1日より当協会での販売価格を改定しました。

また、建設廃棄物処理委託契約書については、令和7年3月末にて仕入元の建設資材普及センターの閉店により同年12月末で当協会での販売も終了となりました。

8. 許可申請に関する講習会協力事業

JWセンター及び全産連と連携を図り、申込者からの照会(申込方法等の案内)、試験会場の設営、講習会当日の運営協力等を行い、令和7年度 奈良県会場では下記のように開催をしました。（全てオンライン講習会）

課 程	試験日（令和7年度）	参加人数
新規・収集運搬	令和7年 9月17日	134名
更新・収集運搬	令和7年 9月17日 令和8年 2月27日	122名 124名
混合① 新規・処分 更新・処分	令和7年 9月18日 (同時開催)	17名 19名
特別管理産業廃棄物 管理責任者	令和8年 2月27日	109名

9. 青年部活動

奈良県青年部は、下記のような事業を実施しました（活動報告書により）

- 令和7年4月11日 奈良県産業廃棄物協会 青年部 施設見学会
（大分県 株式会社大和）
- 〃 4月12日 全産連青年部協議会 3ブロック親睦ゴルフコンペ
（山口県 朝陽カントリークラブ）
- 〃 5月21日 奈良県産業廃棄物協会 青年部 第13回通常総会
（橿原市商工経済会館7階）
- 〃 5月30日 全産連青年部協議会 近畿ブロック 令和7年度通常総会
（大阪府 リーガロイヤルホテル）
- 〃 6月19日 全産連青年部協議会 第26回通常総会
（東京都 AP渋谷道玄坂）
- 〃 8月22日 奈良県産業廃棄物協会 青年部 施設見学会・納涼会
（大阪府 株式会社総環 他）
- 〃 9月26日 全産連青年部協議会 近畿ブロックスポーツ交流会・親睦会
（和歌山県 紀の川市民体育館 他）
- 〃 10月30日 全産連青年部協議会 第15回カンファレンス in さっぽろ
（北海道自治会館）
- 〃 12月19日 奈良県産業廃棄物協会 青年部 ゴルフコンペ&忘年会
（奈良柳生C 他）
- 令和8年1月30日 全産連青年部協議会 第13回全国大会 in 大阪
（グランキューブ大阪）
- 〃 2月20日 全産連青年部協議会 第13回全国大会 in 大阪お疲れ様会
（京都府 鶴清）
- 〃 3月10日 産業廃棄物排出事業所管理者研修会
11日 産業廃棄物優良処理事業者育成研修会
会場受付等の運営補助業務（橿原市商工経済会館7階）

※ 奇数月に近畿ブロック幹事会に出席しました。

10. 女性部活動

奈良県女性部は、令和7年5月21日に設立をいたしました。

産業廃棄物処理業に携わる女性たちが集い、女性ならではの豊かな感性を生かしながら学びや意見交換などの交流を通してますますやりがいをもって働ける環境およびライフワークバランスの充実を目指すことを目的とし、メンバー募集を行っています。

設立初年度は下記のような行事等に参加いたしました。

- 令和7年6月20日 全産連 女性部協議会 第3回通常総会
（東京都 明治記念館）
- 10月20日 奈良県女性部の活動について打合せ
（奈良県産業廃棄物協会 事務所）
- 10月31日 全産連 女性部協議会 第4回全国女性部会のつどい
（北海道 グランドメルキュール札幌大通公園）

11. その他の協力支援活動

県、市町村及びその他の団体の開催する環境・廃棄物等に関連する行事や活動について必要に応じ協力支援活動を行いました。

(1) 家畜伝染病支援活動（県畜産課、家畜保健衛生所 主催）

令和7年度は、実施はありませんでした。

奈良県と当協会は、「特定家畜伝染病発生時における支援活動業務に関する協定書」を令和元年8月19日に締結しています。

(2) 「奈良マラソン 2025」鴻池陸上競技場等の廃棄物処分の協力支援活動

奈良マラソン開催日：12月13日～14日 2日間

奈良マラソンは平城京遷都1300年を記念して行われており、土曜日（ミニマラソン）、翌日曜日（マラソン）の2日間に渡って開催されました。

平成25年度より当協会は協力支援活動を行っており、今年度も鴻ノ池運動公園施設内及びマラソンコース走路から排出されるペットボトル・廃プラスチック等や可燃ゴミの収集運搬及び処分の依頼を受けました。協会員のご協力を得てコンテナ設置、収集運搬及び処分について、スムーズに実施する事が出来ました。